

平成30年度 かわさき・神奈川県ロボットビジネス協議会 総会

次第

日時：平成30年6月22日（火）15時30分～

場所：川崎市産業振興会館 12階会議室

○ 議題

- 1 平成29年度事業報告及び収支決算報告 …資料1
- 2 平成30年度事業計画及び収支予算 …資料2
- 3 役員 の 就任（再任）について…資料3

○ その他報告事項

展示会出展報告と予定

（スマートファクトリーJapan2018、JAPAN ROBOT WEEK 2018）

第2部・特別講演発表会（16:05～17:00）

- ・「産業用ロボットからサービスロボット普及の時代へテムザックの20年間の軌跡から」
講師：株式会社テムザック 取締役副社長 阿部清氏
- ・「ビジネスチャンス・ナビ2020 について」
講師：東京都中小企業振興公社 発注コーディネータ 伊藤晴敏氏

第3部・懇親会（17:15～）

議案

第1号議案 平成29年度事業及び収支決算報告の件

I 平成29年度事業報告

1. ロボットビジネスに関する情報交流・相談支援事業

(1) 会員交流促進事業

○イブニングセミナー
未実施。

(2) セミナー事業

○シーズ発表会
「国際ロボット展」内での技術発表

(3) 会員紹介事業

○冊子「スマートファクトリー2017 サービスロボット対ロボット出展企業ヒアリング報告書」の発行

(4) 交流会の開催

- ①スマートファクトリー2017 会期中・会場内
- ②国際ロボット展会期中・会場内

2. ロボットに関する研究開発・実証実験支援事業

(1) 共同研究等コーディネート事業

協力団体「SOSA地域活性化センター(特定非営利活動法人南斜面協議会)」が応募した経産省の公募事業「JAPANブランド育成支援事業」が採択となったことを受け、同事業に協力・参画し、会員企業のニーズをとりまとめた。

(2) 実証実験支援

上海市内農場での実証に向けた関係者調整を実施。

3. ロボットに関する普及啓発・市場創出事業

(1) 商談展示会事業

次の展示会等への出展及びパネル展示等

- ①スマートファクトリーJAPAN展へのパネル出展(6月7日～9日、東京ビッグサイト)
- ②国際ロボット展・神奈川イノベーションへのパネル出展(10月29日～12月2日、東京ビッグサイト)
- ③「つくる☆さわれる国際ロボット展 ロボット体験・企画コーナー」の運営協力(12月2日、東京ビッグサイト 国際ロボット展会場内)
- ④中国国際工業博覧会へのパネル出展(11月7～11日、国家会展センター(上海))

(2) PR活動

○メールマガジンの配信
(5回、不定期発行)

4. その他

(1) 後援・共催等

○第24回かわさきロボット競技大会の後援
会期: 8月26日(土)～27日(日)
会場: 川崎市産業振興会館

Ⅱ 平成 29 年度収支決算報告(平成 29 年4月1日から平成 30 年3月 31 日)

(単位:円)

科目	予算額	実績額	増減	備考
1 収入の部				
前年度繰越金	219,486	219,486	0	
会費収入	100,000	100,000	0	賛助会員費
事業収入	1,050,000	430,000	△ 620,000	
特別会費	(350,000)	(133,000)	(△ 217,000)	交流会参加費
負担金	(400,000)	(0)	(△ 400,000)	
広告費	(300,000)	(297,000)	(△ 3,000)	
管理費収入	(0)	(2)	(2)	受け取り利息
収入の部合計	1,369,486	749,488	△ 619,998	
2 支出の部				
情報交流・相談支援事業	330,000	364,217	34,217	
交流会費	(80,000)	(86,917)	(6,917)	
会場費	(20,000)	(0)	(△ 20,000)	
相談実施費	(20,000)	(0)	(△ 20,000)	
会員PR費	(210,000)	(277,300)	(67,300)	
研究開発・実証支援事業	210,000	0	△ 210,000	
研究会運営費	(100,000)	(0)	(△ 100,000)	
実証実験実施費	(100,000)	(0)	(△ 100,000)	
事務局費	(10,000)	(0)	(△ 10,000)	
普及啓発・市場創出事業	485,000	0	△ 485,000	
出展費	(400,000)	(0)	(△ 400,000)	
制作費	(50,000)	(0)	(△ 50,000)	
印刷費	(35,000)	(0)	(△ 35,000)	
広告費	(0)	(0)	(0)	
その他	255,000	315,294	60,294	
通信費	(5,000)	(0)	(△ 5,000)	
WEB関連費	(220,000)	(270,909)	(50,909)	HP更新、ドメイン・サーバー利用料等
事務費	(30,000)	(44,385)	(14,385)	事務所費、振込手数料、コピー代等
予備費	89,486	0	△ 89,486	
支出の部合計	1,369,486	679,511	△ 689,975	
当期収支差額	0	69,977		次期繰越金

本決算書の監査を実施した結果、適正であることを認めます。

平成 30 年 3 月 31 日

監事 佐藤 宗勝

議案

第 2 号議題 平成 30 年度 事業計画案及び収支予算案の件

I 平成 30 年度 事業計画案

(I) 基本方針

かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会は、ロボットやロボット関連技術を活用したビジネス創出・産業化に向けて、新たなビジネスモデルや安全に関する社会のコンセンサスづくり、産学・産産連携の推進など、ロボットビジネスが成功する環境づくりに取り組む。

(II) 事業内容

1 ロボットビジネスに関する情報交流・相談支援事業

(1) セミナー及び会員交流促進事業

- 公開セミナー及び会員等の交流会を開催する。

『スマートファクトリー JAPAN (5 月 30 日～6 月 1 日、東京ビッグサイト)』における交流会、及び通常総会 (6 月) における特別講演会を実施する。

交流会は年間 3 回 (うち 1 回はスマートファクトリー展内)。

(2) 会員紹介事業

- ホームページ等における会員紹介を強化する。会員紹介ページの新設 (1 例目としてロボット競技大会を予定)。
- 日刊工業新聞社とのコラボレーション企画を立ち上げる。
(例えば、会員企業や新製品情報の記事化に関する仲介など、新サービスの可能性を探る)

2 ロボット等に関する実用化等支援事業 (旧研究開発・実証実験支援事業)

(1) 企業調査

川崎市内を中心に企業の訪問調査を実施 (日刊工業新聞社と同行)

(2) 実用化支援

県の公募型「ロボット実証実験支援事業」及び同重点プロジェクト事業への会員応募を支援するとともに、会員の取り組みを PR する。

3 ロボットに関する普及啓発・市場創出事業

(1) 商談展示会事業

商談・展示会へのパビリオン出展

【基本】年間 2 回

【候補】 ①スマートファクトリー展 (5 月 30 日～6 月 1 日、東京ビッグサイト)

②Japan Robot Week 2018 (10 月 17 日～19 日、東京ビッグサイト)

(2) PR 活動

- メルマガ定期発行 (毎月第 4 水曜日)

これまでの事務局からの告知に加え、原稿基準を設け、会員等からも投稿料を得た上で対応を可能とするべく、検討を進める。

4 その他

(1) 共催・後援事業の拡充

- 川崎市産業振興財団、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所等との連携強化を図る。特に2020年ロボットオリンピック（正式名称「ロボット国際競技大会」）の開催に向け、各種の新たな試み、事業展開が期待される中で、民間協議会としての立場・ネットワークを活かして、各種事業に貢献する。

II 平成30年度収支予算案（平成30年4月1日から平成31年3月31日）

（単位：円）

科目	予算額	前年度実績額	増減	備考
1 収入の部				
前期繰越金	69,977	219,486	△ 149,509	
会費収入	100,000	100,000	0	賛助会員費
事業収入	650,000	430,000	220,000	
特別会費	(200,000)	(133,000)	(67,000)	交流・懇親会
負担金	(150,000)	(0)	(150,000)	商談展示会、実証実験に伴うもの
広告(広報協力)費	(300,000)	(297,000)	(3,000)	
管理費収入	(0)	(2)	(△ 2)	受け取り利息
収入の部合計	819,977	749,488	70,491	
2 支出の部				
情報交流・相談支援事業	420,000	364,217	55,783	
交流会費	(100,000)	(86,917)	(13,083)	懇親会開催費
会場費	(10,000)	(0)	(10,000)	
相談実施費	(10,000)	(0)	(10,000)	
会員PR費	(300,000)	(277,300)	(22,700)	
実用化等支援事業	30,000	0	30,000	
研究調査費	(10,000)	(0)	(10,000)	
実用化支援費	(10,000)	(0)	(10,000)	施設使用料等
事務局費	(10,000)	(0)	(10,000)	実証実験コーディネートに向けたヒアリング
普及啓発・市場創出事業	250,000	0	250,000	
出展費	(200,000)	(0)	(200,000)	
制作費	(30,000)	(0)	(30,000)	パネル等の作成
印刷費	(20,000)	(0)	(20,000)	協議会PR資料等の作成
広告費	(0)	(0)	(0)	新聞広告等
その他	85,000	315,294	△ 230,294	
通信費	(5,000)	(0)	(5,000)	
WEB関連費	(30,000)	(270,909)	(△ 240,909)	HP更新、ドメイン・サーバー利用等
事務費	(50,000)	(44,385)	(5,615)	
予備費	34,977	0	34,977	
支出の部合計	819,977	679,511	140,466	
当期収支差額	0	69,977		

議案及び参考事項

第 3 号議題 役員選任の件

役員 7 名中 2 名について平成 30 年 6 月 30 日をもって任期が満了いたしましたので、役員 2 名の選任を提案します。

候補者は次のとおりです。なお、新任期は平成 32 年 6 月 30 日までとなります。

理事（案）

氏名	所属等	備考
馬来 義弘	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所 理事長	理事（再任）
酒井 賢二	公益財団法人川崎市産業振興財団 事業推進課長	監事（新任） ※佐藤宗勝（前任）退任

(参考事項)

○非改選役員

氏名	所属等	備考：役職 ※任期は平成 31 年 6 月 30 日
岩森 耕太郎	川崎商工会議所 参与	理事（理事長）
黒田 洋司	明治大学理工学部 教授	理事（副理事長）
和田 博	ダブル技研株式会社 代表取締役	理事（副理事長）
藤本 康孝	横浜国立大学 大学院 教授	理事
小川 秀樹	株式会社東芝 参事	理事

○かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会規約（抜粋）

第 4 章 役員

（種別及び定数）

第 1 1 条 協議会に次の役員を置く。

（1）理事 3 人以上 15 人以下

（2）監事 1 人以上 2 人以下

2 理事のうち、1 人を理事長とし、若干名を副理事長とすることができる。

（選任等）

第 1 2 条 理事及び監事は、総会において選任する。

2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。

（職務）

第 1 3 条 （略）

（任期等）

第 1 4 条 役員任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2～3 （略）

4 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。